

「ヤイロの娘と長血を患う女」 共観福音書比較

マタイ福音書 9 章	マルコ福音書 5 章	ルカ福音書 8 章
<p>18 イエスがこのようなことを話しておられると、ある指導者がそばに来て、ひれ伏して言った。「わたしの娘がたったいま死にました。でも、おいでになって手を置いてやってください。そうすれば、生き返るでしょう。」</p> <p>19 そこで、イエスは立ち上がり、彼について行かれた。弟子たちも一緒だった。</p>	<p>21 イエスが舟に乗って再び向こう岸に渡られると、大勢の群衆がそばに集まって来た。イエスは湖のほとりにおられた。</p> <p>22 会堂長の一人でヤイロという名の人が来て、イエスを見ると足もとにひれ伏して、</p> <p>23 しきりに願った。「わたしの幼い娘が死にそうです。どうか、おいでになって手を置いてやってください。そうすれば、娘は助かり、生きるでしょう。」</p> <p>24 そこで、イエスはヤイロと一緒に出發して行かれた。大勢の群衆も、イエスに従い、押し迫って来た。</p>	<p>40 イエスが帰って来られると、群衆は喜んで迎えた。人々は皆、イエスを待っていたからである。</p> <p>41 そこへ、ヤイロという人が来た。この人は会堂長であった。彼はイエスの足もとにひれ伏して、自分の家に来てくださるようにと願った。</p> <p>42 十二歳ぐらいの一人娘がいたが、死にかけていたのである。イエスがそこに行かれる途中、群衆が周りに押し寄せて来た。</p>
<p>20 すると、そこへ十二年間も患って出血が続いている女が近寄って来て、</p> <p>後ろからイエスの服の房に触れた。</p> <p>21 「この方の服に触れさえすれば治してもらえると」思ったからである。</p> <p>22 イエスは振り向いて、彼女を見ながら言われた。「娘よ、元気になりなさい。あなたの信仰があなたを救った。」そのとき、彼女は治った。</p>	<p>25 さて、ここに十二年間も出血の止まらない女がいた。</p> <p>26 多くの医者にかかって、ひどく苦しめられ、全財産を使い果たしても何の役にも立たず、ますます悪くなるだけであった。</p> <p>27 イエスのことを聞いて、群衆の中に紛れ込み、後ろからイエスの服に触れた。</p> <p>28 「この方の服にでも触れればいやしていただける」と思ったからである。</p> <p>29 すると、すぐ出血が全く止まって病気がいやされたことを体を感じた。</p> <p>30 イエスは、自分の内から力が出て行ったことに気づいて、群衆の中で振り返り、「わたしの服に触れたのはだれか」と言われた。</p> <p>31 そこで、弟子たちは言った。「群衆があなたに押し迫っているのがお分かりでしょう。それなのに、『だれがわたしに触れたのか』とおっしゃるのですか。」</p> <p>32 しかし、イエスは、触れた者を見つけようと、辺りを見回しておられた。</p> <p>33 女は自分の身に起こったことを知って恐ろしくなり、震えながら進み出てひれ伏し、すべてをありのまま話した。</p> <p>34 イエスは言われた。「娘よ、あなたの信仰があなたを救った。安心して行きなさい。もうその病気にかからず、元気に暮らさなさい。」</p>	<p>43 ときに、十二年このかた出血が止まらず、医者に全財産を使い果たしたが、だれからも治してもらえない女がいた。</p> <p>44 この女が近寄って来て、後ろからイエスの服の房に触れると、</p> <p>直ちに出血が止まった。</p> <p>45 イエスは、「わたしに触れたのはだれか」と言われた。人々は皆、自分ではないと答えたので、</p> <p>ペトロが、「先生、群衆があなたを取り巻いて、押し合っているのです」と言った。</p> <p>46 しかし、イエスは、「だれかがわたしに触れた。わたしから力が出て行ったのを感じたのだ」と言われた。</p> <p>47 女は隠しきれないと知って、震えながら進み出てひれ伏し、触れた理由とたちまちいやされた次第とを皆の前で話した。</p> <p>48 イエスは言われた。「娘よ、あなたの信仰があなたを救った。安心して行きなさい。」</p>
<p>23 イエスは指導者の家に行き、笛を吹く者たちや騒いでいる群衆を御覧になって、</p> <p>24 言われた。「あちらへ行きなさい。少女は死んだのではない。眠っているのだ。」人々はイエスをあざ笑った。</p> <p>25 群衆を外に出すと、</p> <p>イエスは家の中に入り、少女の手をお取りになった。</p> <p>すると、少女は起き上がった。</p> <p>26 このうわさはその地方一帯に広まった。</p>	<p>35 イエスがまだ話しておられるときに、会堂長の家から人々が来て言った。「お嬢さんは亡くなりました。もう、先生を煩わすには及ばないでしょう。」</p> <p>36 イエスはその話をそばで聞いて、「恐れることはない。ただ信じなさい」と会堂長に言われた。</p> <p>37 そして、ペトロ、ヤコブ、またヤコブの兄弟ヨハネのほかは、だれもついて来ることをお許しにならなかった。</p> <p>38 一行は会堂長の家に着いた。イエスは人々が大声で泣きわめいて騒いでいるのを見て、</p> <p>39 家の中に入り、人々に言われた。「なぜ、泣き騒ぐのか。子供は死んだのではない。眠っているのだ。」</p> <p>40 人々はイエスをあざ笑った。しかし、イエスは皆を外に出し、子供の両親と三人の弟子だけを連れて、子供のいる所へ入って行かれた。</p> <p>41 そして、子供の手を取って、「タリタ、クム」と言われた。これは、「少女よ、わたしはあなたに言う。起きなさい」という意味である。</p> <p>42 少女はすぐに起き上がって、歩きだした。もう十二歳になっていたからである。それを見るや、人々は驚きのあまり我を忘れた。</p> <p>43 イエスはこのことをだれにも知らせないようにと厳しく命じ、また、食べ物を少女に与えるようにと言われた。</p>	<p>49 イエスがまだ話しておられるときに、会堂長の家から人が来て言った。「お嬢さんは亡くなりました。この上、先生を煩わすことはありません。」</p> <p>50 イエスは、これを聞いて会堂長に言われた。「恐れることはない。ただ信じなさい。そうすれば、娘は救われる。」</p> <p>51 イエスはその家に着くと、ペトロ、ヨハネ、ヤコブ、それに娘の父母のほかには、だれも一緒に入ることをお許しにならなかった。</p> <p>52 人々は皆、娘のために泣き悲しんでいた。</p> <p>そこで、イエスは言われた。「泣くな。死んだのではない。眠っているのだ。」</p> <p>53 人々は、娘が死んだことを知っていたので、イエスをあざ笑った。</p> <p>54 イエスは娘の手を取り、「娘よ、起きなさい」と呼びかけられた。</p> <p>55 すると娘は、その霊が戻って、すぐに起き上がった。イエスは、娘に食べ物を与えるように指図をされた。</p> <p>56 娘の両親は非常に驚いた。イエスは、この出来事をだれにも話さないようにとお命じになった。</p>